

山寺通信 1月号



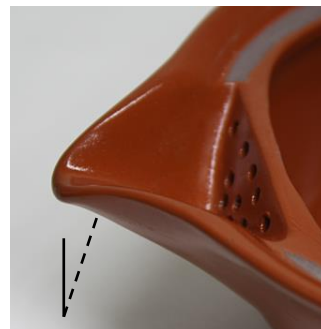
2016年の始まりです。世界情勢もそうですが、日本の情勢もいまいち不安定です。円安で輸出が伸びて一部の大企業は景気が良いですが、大多数の企業は実感がないようです。むしろ庶民生活では、円安による輸入品の値上がりが色々な物価に影響しています。小売業は、消費者の生活防衛の矢面に立たされて厳しくなります。12月号で紹介しましたが、お茶が老化等の健康面にもっとも習慣性を形成しやすく、さらに他の健康食品と言われるものより経済的であることを簡単に分り易く提示すれば消費者の支持をえます。また嗜好品としての飲み物の奥深さを再認識してもらい、日本人の生活に即した飲み物として認知してしてもらうことが可能です。新聞等のマスコミでも加熱する健康食品に対しては疑問符も投げかけられ、さらに食品安全委員会よりメッセージが出されています。お茶の長い歴史と安全性や健康効果の科学的実証と実質的な経済性をアピールする宣伝方法を研究する時です。そして実行する積極性が重要です。

サイズの宝瓶 デザイン山寺 製作中国の急須「茶壺」メーカー



細かい茶葉でも、湯に浸すと茶葉は膨らむので粉の部分もあまり出ません。

構造 直径 10.5cm 高さ 5cm 容量 140cc



茶漉し穴は、従来の物と違い内側に傾斜を付けてあります。点線部分参照



棒茶や焙じ茶の細い茎の部分は、出ますので茶柱が立つこともあります。中国で作り安価な趣味の茶器としてお茶を楽しみます。追加カタログで4種紹介しています。扱い、洗浄、使い勝手が良い。



YA-16-0304 ¥1700



YA-16-0303 ¥1800



YA-16-0302 ¥1900

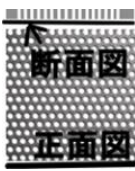


YA-16-0301 ¥1900

網の拡大構造

従来のカゴアミ

ステンレス・ファインアミ



3年経過しました。深蒸し茶には最適だと認識され使う人が増えています。同類他社製品より安いので中級の急須に使われることも多くなりました。とても目が細かいので詰まるのではないかと考える人もいますが、表面がつるつるで穴もストレートに開いていますので詰まりません。穴の径も適度な細かさなので、茶葉は出ません。洗浄できるので網の汚れを解消して、お茶の味を変えません。